学校番号	3016

令和３年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	3	第２学年	桐原書店 Jump to Writing 数研出版 Write to the Point

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次において学んできた英文法の知識を生かしながら英作文の練習を行っていきます。

・英文法は「理論」としてとても大切なものですが、それは「実践」を通してさらなる理解につながります。その「実践」を行うのが本科目の目的です。

・用いる教材は文法の項目別に章立てされています。英作文力を上げていくとともに、英文法の復習も行っていきます。

・英作文力、つまり「書く」力は「話す」力と密接にリンクしています。「書く」だけではなく、「話す」ことも意識しながら、英語の理解を深めていきましょう。学ぶ英文を瞬時に「書く」だけではなく「話す」ことも意識しながら学ぶと、さらなる応用につながっていきます。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「異文化理解」（２単位）、「総合英語」：（１単位）及び「英語表現」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・特定の情報や自分の考えなどについて相手に説明したり、また相手に質問するなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・スピーチ ・プレゼンテーション ・ Small Talk	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながらまとまりのある英文を書くことができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・パラグラフライティング	・自然な速さで話される講義やスピーチ、会話を聞いて論旨を捉えた上で、概要や要点を理解することができる。 ・自然な速さで標準的な発音で話される会話の流れについていくことができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・授業内活動 ・リスニングテスト	・評論、エッセイなどを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を把握することができる。 ・あるまとまった文章を辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・速読 ・X-reading

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Jump to Writing Write to the Point (50)	1.主語・動詞・基本文型 2.時を表す表現 3.助動詞 4.受動態 5.不定詞 6.動名詞 7.分詞 8.比較 9.関係詞 10.仮定法 11.否定 12.疑問詞・疑問文 13.強調・倒置・省略・語法など 14.名詞 15.形容詞 16.副詞 17.接続詞 1.主語の決定(1) 2.主語の決定(2) 3.目的の表現 4.理由の表現 5.時制(1) 6.時制(2) 7.動詞の語法 8.関係詞 9.時間の表現 10.数字の表現 11.仮定・条件の基本 12.仮定・条件の応用 13.比較の基本 14.比較の応用 15.譲歩の表現 16.重要表現(1) 17.重要表現(2) 18.Aは…だ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の意見を表現するとともに，積極的にコミュニケーションを図る。	教材で用いられている文を積極的に音読する。間違いを恐れず、自分の意見を表現し、コミュニケーションする。	ペア・ワークやグループ・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べようとする。	ワークシート 観察
		「英語表現の能力」			
		学んだ文法・表現を効果的に用いて正確な文を書くことができる。また、オーラルでも行うことで知識の定着をすすめる。	学んだ英文法をもとに、和文英訳を正確に行う。また、その和文英訳を瞬時にオーラルで行う。	学んだ文法・表現を使って，効果的に文を書くことができる。文法の誤りを少なくしている。	定期考査 観察
		「英語理解の能力」			
		英文を文法的に理解し、自分で書いた英文が文法的に正しいかどうかを確認することができる。	生徒の書いた英文を確認し合うことで、文法的に確認し添削し合う。	文法的なミスを正確に訂正することができる。ほかの生徒が書いた英文を添削することができる。	定期考査 ワークシート 観察
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ポイントとなる英文法の知識を理解している。	1年次で学んだ英文法の知識を復習する。	学んだ文法・表現を理解し，知識として定着させている。	定期考査